

# 第1号議案

## 令和7年度事業報告

### I 法人運営

#### 1 定時会員総会・理事会

項目	期日	会場	主な議題
総会	6/18		令和6年度事業報告、令和6年度決算の承認、 会費納入方法の承認、理事及び監事の選任、 令和7年度事業計画及び収支予算の報告
理事会	第1回	グランディエール ブuket-カイ	令和6年度事業報告、令和6年度決算の承認、 令和7年度定時会員総会の開催
	第2回		会長、副会長及び専務理事の選定
	第3回		令和7年度業務執行理事による職務執行状況の報告、 参与の委嘱への同意、本会入会の承認
	第4回	ホテルグランヒルズ 静岡	令和7年度業務執行理事による職務執行状況の報告、 令和8年度事業計画及び収支予算（案）、 令和8年観光功労表彰選考結果の報告及び承認、 本会入会の承認

※議案は原案どおり承認

#### 《参考》 会員数の推移

(各年度末時点)

区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正会員	105	105	103	102	102	102	101	101	101	101
特別会員	182	218	229	227	217	215	217	226	229	234
計	287	323	332	329	319	317	318	327	330	335

#### 2 法人の運営体制の充実を図るための取組

「公益法人の自主的・自律的ガバナンス強化のための調査報告書」（内閣府大臣官房公益法人行政担当室）や他法人の事例を参考にするなど、今後取組を進めていくこととする。

### II 公益目的事業の実施状況

#### 1 国内観光振興事業

##### (1) 観光情報発信事業

##### ア 総合案内パンフレットの発行等

観光案内、資料送付依頼等でニーズの高い県全体の観光地図及び観光素材を掲載した「静岡県観光ガイドマップ」を改訂増刷（35,000部）

##### イ インターネット・SNSを活用した観光情報発信事業

- ・静岡県観光公式サイト「ハローナビしずおか」を運営し、モデルコース、旬の情報、キャンペーン情報、イベント情報等を発信
- ・スマートフォンで操作しやすく、かつ、閲覧者が直感的に回遊できるデザインや導線を設置するなど、「ハローナビしずおか」の全面改修を実施し、3月17日に「静岡県観光ガイドHello Navi」として公開（プレオープン）
- ・「ハローナビしずおかブログサイト」にテーマ性を持ったコンテンツや旅行スタイ

ルの変化や市場のトレンドを捉えた記事を掲載

- ・若年層への訴求を強化するため、静岡県立大学との連携し、学生が作成したブログ記事を発信するとともに、授業にてアクセス解析基礎講義を実施
- ・Instagram等のSNSでの情報発信による新たなファン層の獲得及び静岡県への旅行意欲の喚起

#### <ホームページ、SNS運用実績>

- ・静岡県観光公式サイト「ハローナビしずおか」  
アクティブユーザー数：2,491,532（前年同期比93.56%）  
表示回数：4,503,100（前年同期比99.85%）
- ・SNS  
Facebook 投稿数：138回 フォロワー数：12,295人（前年度末+1,869人）  
Instagram 投稿数：135回 フォロワー数：38,760人（前年度末+6,251人）

### (2) 絶景・秀景富士山世界遺産写真コンテストの実施

- ・静岡県富士山世界遺産センターとNHK静岡放送局との共催により「絶景・秀景富士山世界遺産写真コンテスト」を実施（作品募集期間：8/11～11/30、結果発表：2/13）  
応募数1,026点
- ・昨年度の入賞作品等を活用して作成した2026年卓上カレンダーを全国の旅行会社やメディア等に配布

### (3) 観光DXの推進

- ・市町及び市町観光協会を対象とした観光関連データの活用研修会の実施  
21市町・4DMO参加
- ・観光マーケティングコンサルタントによるモデル市町を対象とした伴走支援の実施  
6市町（磐田市・御前崎市・小山町・浜松市・伊豆の国市・遠州観光協議会）  
3/13モデル市町の伴走支援成果を共有する成果報告会の開催

## 2 国内商品企画・販売支援事業

### (1) 旅行会社への情報提供

- ・大都市圏等及び富士山静岡空港就航先の旅行会社に、訪問及びメールや電話での情報提供等による営業活動を実施  
延べ件数：16,925件（メール等での情報発信を含む）  
訪問件数：首都圏：175件、中京圏71件、関西圏：447件、就航先：26件
- ・最新の観光素材等の情報提供により旅行商品造成を促進
- ・地域で作られた観光コンテンツの紹介により商品化を促進
- ・航空事業者や鉄道事業者と連携した旅行商品の販売を促進
- ・国内旅行会社等を対象に県内観光情報、補助金施策情報等を発信  
配信日：5/28、9/10、12/23 発信先数：846カ所
- ・関西・静岡観光協議会の運営

## (2) ワンストップサービスの実施

- ・旅行会社からの旅行商品造成に対する問い合わせ、要望及びマスコミからの観光情報提供等の依頼に対応  
対応件数：944 件
- ・市町及び市町観光協会、観光事業者等による旅行会社、マスコミへの営業活動のアドバイスと営業訪問に同行

## (3) マスコミへの情報提供

- ・本県の観光素材の各種媒体での露出拡大を目的とした首都圏を中心としたメディアセールスを実施  
延べ件数：2,868 件（メール等での情報発信を含む）

## (4) グループ旅行商品の販売・造成支援

- ・宿泊施設や観光施設の平日利用による旅行需要の平準化を目的に、県内外の旅行会社を対象とした送客実績に応じた貸切バス代等を支援  
申請件数：153 件 269 台

## (5) 教育旅行誘致促進

- ・旅行会社向けの商談会の開催：東京 7/29、名古屋 8/5、大阪 1/27
- ・受入団体連絡会の開催：7/4、12/12、2/27
- ・教育旅行推進アドバイザーによる首都圏、中京圏を主要ターゲットとした旅行会社への情報提供及び地域の受入団体と連携した誘致活動の実施
- ・教育旅行の素材となり得る宿泊、食事、観光、体験等に関する情報の集約

## 3 国際観光振興事業（海外誘客推進事業）

### (1) マーケティング事業（海外での需要創出）

#### ア 高所得層向け旅行商品の販売促進支援

- ・英国、米国、豪州に海外マーケティング事務所(海外レップ)を設置
- ・海外レップによる高所得者層を顧客に持つ海外旅行会社等とのネットワーキング構築
- ・市場の需要に合致した本県を旅行地とするツアー企画販売に向けた海外旅行会社、旅行アドバイザー等の視察受入れ 5 回
- ・中国、台湾や豪州等をターゲットとするゴルフツーリズム商品の販売支援
- ・欧米豪の高付加価値旅行者向け県内観光商品の磨き上げ及び販売支援

#### イ 海外旅行会社等への情報発信・販売促進支援

- ・海外観光展、イベント及び商談会への参加 7 回
- ・海外レップによる県内で実施されている体験商品やツアー商品等を海外旅行会社等に紹介するセミナー等の実施 実施回数：7 回
- ・海外旅行会社等向けに県内観光施設等を紹介するメールニュースを定期的に発信 実施回数：7 回

## ウ 認知度向上への取組

- ・海外レップによる海外メディアへの定期的なプレスリリースの発信  
実施回数：11回
- ・ウェブサイト、SNS等を活用したオンラインプロモーション  
Facebook 投稿数 84回 フォロワー数 28,469人  
Instagram 投稿数 91回 フォロワー数 10,026人
- ・県駐在員事務所と連携してアジア市場の個人旅行客向けに動画を活用した情報発信  
SNS 発信用縦型動画制作本数：14本

## (2) マネジメント事業（観光ビジネスの促進）

### ア 人材育成

- ・地域の魅力を理解し、参加者の興味を引くガイディング技術を持つ通訳ガイドの育成  
基礎研修 1回 専門研修 2コース計2回実施
- ・海外に向けた情報発信を支援するため県内事業者等を対象としたSNSマーケティング研修の実施 3回実施
- ・県内自治体・観光協会・DMOの職員や事業者等観光ビジネスに携わる人材育成のためのセミナーの実施 1回実施
- ・県内事業者同士の連携促進のための情報交換会の実施 1回実施
- ・協会会員及び県内観光施設・宿泊施設・交通事業者等から成る「静岡県インバウンド観光推進ネットワーク」(平成21年設立)の事業者等に、インバウンドに関するアンケート調査の実施
- ・通訳ガイド目指す人のためのガイドの魅力を紹介と県内通訳ガイド向けのスキルアップのためのセミナーの実施 1回実施

## (3) 連携事業

### ア 県駐在員事務所との連携

- ・高所得層を顧客に持つ現地旅行会社へのセールス活動
- ・アジア市場の個人旅行客向けに動画を活用した情報発信(再掲)
- ・中国、台湾等をターゲットとするゴルフツーリズム商品の販売促進(再掲)

### イ 県内各市町・DMOとの連携事業

- ・海外旅行会社の視察受入れ 2社(再掲)

### ウ 県内各団体との連携事業

- ・インバウンドに関するセミナー等への講師派遣 2回

## 4 商品企画定着促進事業

静岡県の旅行消費額、宿泊者数を伸ばすため、専門性の高いオペレーター機能と多様化するマーケットニーズに応えられる新商品開発機能および商品開発支援機能を強化し、訪問地として選ばれる静岡県の実現に向けて取り組みを実施

## (1) オペレーター機能強化事業

### ア ワンストップ窓口機能

- ・旅行会社等からの相談対応 21 件、結果、決定したツアー36 件
- ・ランドオペレーターへの訪問営業 61 件
- ・ランドオペレーター対象の商談会 8 月実施
- ・ランドオペレーター対象の県内視察 8 社、9 回実施
- ・静岡県海外駐在員事務所への情報発信 12 回実施

### イ 新商品企画開発

#### (ア) 日本人旅行

- ・「2024 年度市町別訪問スポット上位表」を活用し、売れる観光コンテンツ開発を実施
- ・東海道と宿場町のプロモーション用リーフレット 11,000 部を制作、配布して、御宿場印とウォーキングコースの宣伝を実施
- ・県内の産業視察・産業観光が可能な企業・施設を調査し、紹介用データを制作して情報発信を実施

#### (イ) 訪日外国人旅行

- ・静岡県と山梨県を巡る周遊ルートの開発を継続し、観光庁事業「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」とも連動実施
- ・県補助事業「ナイトタイムコンテンツ等滞在促進商品造成・販売業務委託事業」を活用し、4つのナイトタイムコンテンツとモーニングコンテンツ造成
- ・静岡県酒造組合の協力を得て、「出張酒蔵」をテーマとしたナイトコンテンツを造成
- ・東アジアをターゲットとしたゴルフツアーの誘致を実施し、世界第3位のOTAトリップドットコムが11月に開催する日本初のゴルフイベントの誘致に成功
- ・静岡県ならではの食と食文化の提案を目的に、「わさび」をテーマとした企画書を制作して宣伝
- ・多言語ウェブサイト「Explore Shizuoka」（英語ページ）でBtoC商品「Activities」を宣伝中、今年度の新規掲載16商品、公開中89商品

### ウ 商品開発支援

#### (ア) アドバイス支援

- ・新商品の企画・開発を実施する地域DMO、県内観光協会、事業者に対するアドバイスを計37回実施

#### (イ) コンテンツの販路開拓支援

- ・旅行会社・メディアへの宣伝用に開発された地域商品を「観光商品シート」としてまとめ、R7下期用315商品を宣伝
- ・「静岡県 グループ・団体旅行の造成のヒント」（現観光商品シート）の令和8年度用商品の応募を実施し、133商品を掲載した冊子を制作、旅行会社等に対し宣伝
- ・旅ナカ商品（98商品）旅マエ商品（37商品）をHP、SNS、TIPS等で宣伝中

(ウ) テーマ別事業者支援

- ・食の事業者支援として、「しずおか県の味覚狩り～春夏秋冬～」 「鰻でしたら静岡県」 「静岡県を寿司で味わう」 の改訂版を制作して宣伝

(2) 商品造成・販売助成事業

ア アウトドア資源を活用した商品づくりの補助制度

- ・観光商品額の増大を図るため、地域連携 DMO 等又は観光事業者が行うアウトドア資源と地域の観光資源を掛け合わせた体験・滞在型観光コンテンツの造成を支援する制度
- ・応募 4 件、交付決定 3 件、交付決定額計 6,700,000 円

5 観光関係団体との協働事業

(1) 地域行事育成事業

- ・後援実績：申請・承認 37 件

(2) 交通事業者協議会協力事業（静岡 10 線観光推進協議会）

- ・JR 東海ほか県内交通事業者 10 社と連携し、静岡県内の公共交通機関の利活用を促進するための観光振興事業を実施：媒体への出稿（旅行読売 9 月号）、ブログ記事の制作（静岡鉄道、ふじさん駿河湾フェリー、伊豆急行）、鉄道むすめを製作しプロモーションに活用

(3) 公益社団法人日本観光振興協会

- ・台湾旅行博（ITF）の関東ブロック出展：商談会（11/6）、出展期間（11/7-10）、運営パンフレット発送、ステージイベント実施
- ・観光地美化プランター配布事業に令和 8 年度 1 団体を推薦

6 観光功労表彰事業

県内各地において、永年にわたり観光振興に寄与した人物や、交流客の増大に貢献した地域の模範となる優れた取組について表彰を行った。

《会長感謝状（個人）》

相原弘昌 小山町観光協会 相談役  
渡邊宗男 伊豆湯河原温泉観光協会 監事  
角 一幸 磐田市観光協会 会長

《会長表彰状（個人）》

馬淵弘行 遠州鉄道株式会社 旅行営業課 課長  
住田恭子 一般社団法人焼津市観光協会 マネージャー  
石井 啓 東海自動車株式会社 バス営業部貸切営業課 課長  
黒川 真 東日本旅客鉄道株式会社横浜支社 小田原・伊豆統括センター副所長  
観光クリエイティブオフィス室長  
岩崎昌登 公益財団法人するが企画観光局 事務局次長兼総務部長 CFO

《ふじのくにしずおか観光大賞（団体）》

【大賞】 へだ温泉深海魚プロジェクト

【奨励賞】 しずおか体験教育旅行、御殿場ボランティアガイド協会

## 7 本部観光案内所の運営

本部観光案内所において、マスコミ、旅行会社、一般観光客などへ市町、県、観光事業者と連携した最新観光情報の発信や提供および観光誘客活動の協力を実施

所在地 静岡市駿河区南町 14-1 水の森ビル 2F

面積 161.39 m<sup>2</sup>

営業時間 8:30～17:15

休業日 土日祝日・年末年始

### (1) 情報提供・協力

#### ア マスコミ、旅行会社の対応

最新の観光情報と観光宣伝資料（パンフレット、画像、映像）の提供および原稿作成、番組出演や取材等の協力

#### イ 県内市町、県、観光事業者と連携

最新の情報発信をするため、情報収集および観光宣伝資料やノベルティなどの提供を相互に協力し情報を発信

#### ウ 各種大会等の対応

全国的な会議等を主催する機関からの要請により、観光宣伝資料やノベルティを提供

#### エ 案内所の来所、電話等の対応

(ア) 県内観光パンフレットの配架、提供、ポスター掲示による観光情報の紹介

(イ) 観光案内および問い合わせの対応件数

- ・来所者対応数 251 件（相談者のみ）
- ・電話・メール対応数 1,629 件（マスコミ含む）
- ・資料請求の対応数 1,020 件

## 事業報告の附属明細書

令和7年事業年度においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

# 令和7年度決算の承認

## 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	43,897,933	41,213,322	2,684,611
未収金	93,087,426	73,209,068	19,878,358
未収消費税	0	329,700	△ 329,700
前払費用	497,200	698,720	△ 201,520
流動資産合計	137,482,559	115,450,810	22,031,749
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	8,063,360	6,607,856	1,455,504
特定資産合計	8,063,360	6,607,856	1,455,504
(2) その他固定資産			
什器備品	1,123,203	1,337,533	△ 214,330
差入保証金	600,000	600,000	0
その他固定資産合計	1,723,203	1,937,533	△ 214,330
固定資産合計	9,786,563	8,545,389	1,241,174
資産合計	147,269,122	123,996,199	23,272,923
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	40,940,454	15,684,697	25,255,757
未払消費税	5,000	0	5,000
前受金	41,250	0	41,250
預り金	38,389	0	38,389
賞与引当金	2,116,000	2,347,519	△ 231,519
流動負債合計	43,141,093	18,032,216	25,108,877
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,063,360	6,607,856	1,455,504
固定負債合計	8,063,360	6,607,856	1,455,504
負債合計	51,204,453	24,640,072	26,564,381
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	96,064,669	99,356,127	△ 3,291,458
正味財産合計	96,064,669	99,356,127	△ 3,291,458
負債及び正味財産合計	147,269,122	123,996,199	23,272,923

# 正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	49,796,000	49,716,000	80,000
運営会費収入	49,796,000	49,716,000	80,000
受取負担金	43,286,405	23,914,591	19,371,814
県費負担金収入	43,286,405	23,914,591	19,371,814
受取補助金	206,595,320	232,958,475	△ 26,363,155
国費補助金収入	1,501,500	15,200,000	△ 13,698,500
県費補助金収入	205,093,820	217,758,475	△ 12,664,655
受取県費委託金	0	1,572,710	△ 1,572,710
県費委託金収入	0	1,572,710	△ 1,572,710
受取団体委託金等	0	500,000	△ 500,000
団体委託金等収入	0	500,000	△ 500,000
雑収益	386,019	355,640	30,379
受取利息	260,347	75,908	184,439
刊行物・広告収入	70,100	222,732	△ 152,632
雑収入	55,572	57,000	△ 1,428
経常収益計	300,063,744	309,017,416	△ 8,953,672
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	5,162,454	5,441,760	△ 279,306
給料	51,045,964	51,425,774	△ 379,810
賞与引当金繰入額	1,834,000	2,136,908	△ 302,908
手当	4,312,860	5,733,310	△ 1,420,450
法定福利費	9,739,510	11,048,393	△ 1,308,883
退職給付費用	1,368,788	1,694,013	△ 325,225
福利厚生費	114,459	147,214	△ 32,755
旅費交通費	9,494,158	12,670,669	△ 3,176,511
通信費	2,990,276	3,530,223	△ 539,947
運賃運搬費	639,755	929,520	△ 289,765
減価償却費	0	117,334	△ 117,334
広告宣伝費	12,102,158	10,375,197	1,726,961
新聞図書費	162,765	171,755	△ 8,990
会議費	2,003,656	2,265,962	△ 262,306
消耗品費	377,649	909,898	△ 532,249
修繕費	3,955,454	5,626,277	△ 1,670,823
印刷製本費	8,402,567	15,760,446	△ 7,357,879
水道光熱費	573,751	682,641	△ 108,890
賃借料	3,371,292	3,557,142	△ 185,850
支払報酬	581,240	658,651	△ 77,411
支払手数料	556,332	579,612	△ 23,280
租税公課	90,081	191,499	△ 101,418
負担金	3,100,000	3,100,000	0
助成金	16,400,000	29,128,225	△ 12,728,225
諸会費	310,000	310,000	0
委託費	152,782,589	124,383,404	28,399,185
雑費	1,117,701	1,012,605	105,096
事業費計	292,589,459	293,588,432	△ 998,973

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
役員報酬	1,290,613	604,640	685,973
給料	1,471,811	2,049,860	△ 578,049
賞与引当金繰入額	282,000	210,611	71,389
手当	156,056	215,756	△ 59,700
法定福利費	712,052	719,695	△ 7,643
退職給付費用	86,716	64,597	22,119
福利厚生費	158,620	138,720	19,900
旅費交通費	782,626	1,031,979	△ 249,353
通信費	101,215	331,641	△ 230,426
運賃運搬費	21,538	86,717	△ 65,179
減価償却費	214,330	230,603	△ 16,273
新聞図書費	4,811	8,717	△ 3,906
会議費	1,364,641	1,453,357	△ 88,716
消耗品費	50,837	511,483	△ 460,646
修繕費	19,638	158,903	△ 139,265
印刷製本費	167,572	382,852	△ 215,280
水道光熱費	19,574	69,471	△ 49,897
賃借料	112,201	349,561	△ 237,360
支払報酬	1,761,100	1,557,512	203,588
支払手数料	14,888	39,038	△ 24,150
租税公課	2,699	6,691	△ 3,992
諸会費	1,858,300	1,853,300	5,000
委託費	0	1,755,704	△ 1,755,704
雑費	111,905	282,623	△ 170,718
管理費計	10,765,743	14,114,031	△ 3,348,288
經常費用計	303,355,202	307,702,463	△ 4,347,261
当期經常増減額	△ 3,291,458	1,314,953	△ 4,606,411
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,291,458	1,314,953	△ 4,606,411
一般正味財産期首残高	99,356,127	98,041,174	1,314,953
一般正味財産期末残高	96,064,669	99,356,127	△ 3,291,458
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	96,064,669	99,356,127	△ 3,291,458

# 正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計 (管理費)	内部 取引消去	合 計
	公1 観光振興			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	24,898,000	24,898,000		49,796,000
運営会費収入	24,898,000	24,898,000		49,796,000
受取負担金	43,286,405	0		43,286,405
県費負担金収入	43,286,405	0		43,286,405
受取補助金	206,595,320	0		206,595,320
国費補助金収入	1,501,500	0		1,501,500
県費補助金収入	205,093,820	0		205,093,820
雑収益	70,100	315,919		386,019
受取利息	0	260,347		260,347
刊行物・広告収入	70,100	0		70,100
雑収入	0	55,572		55,572
経常収益計	274,849,825	25,213,919		300,063,744
(2) 経常費用				
役員報酬	5,162,454	1,290,613		6,453,067
給料	51,045,964	1,471,811		52,517,775
賞与引当金繰入額	1,834,000	282,000		2,116,000
手当	4,312,860	156,056		4,468,916
法定福利費	9,739,510	712,052		10,451,562
退職給付費用	1,368,788	86,716		1,455,504
福利厚生費	114,459	158,620		273,079
旅費交通費	9,494,158	782,626		10,276,784
通信費	2,990,276	101,215		3,091,491
運賃運搬費	639,755	21,538		661,293
減価償却費	0	214,330		214,330
広告宣伝費	12,102,158	0		12,102,158
新聞図書費	162,765	4,811		167,576
会議費	2,003,656	1,364,641		3,368,297
消耗品費	377,649	50,837		428,486
修繕費	3,955,454	19,638		3,975,092
印刷製本費	8,402,567	167,572		8,570,139
水道光熱費	573,751	19,574		593,325
賃借料	3,371,292	112,201		3,483,493
支払報酬	581,240	1,761,100		2,342,340
支払手数料	556,332	14,888		571,220
租税公課	90,081	2,699		92,780
負担金	3,100,000	0		3,100,000
助成金	16,400,000	0		16,400,000
諸会費	310,000	1,858,300		2,168,300
委託費	152,782,589	0		152,782,589
雑費	1,117,701	111,905		1,229,606
経常費用計	292,589,459	10,765,743		303,355,202
当期経常増減額	△ 17,739,634	14,448,176		△ 3,291,458

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 17,739,634	14,448,176		△ 3,291,458
一般正味財産期首残高				99,356,127
一般正味財産期末残高				96,064,669
II 指定正味財産増減の部				0
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				96,064,669

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準（平成20年4月11日 最終改正令和2年5月15日 内閣府公益認定等委員会）」を採用している。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は法人税法の規定による定額法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

1) 賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

2) 退職給付引当金は職員の退職給与の支給に備えるため、当期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	6,607,856	1,455,504	0	8,063,360
合 計	6,607,856	1,455,504	0	8,063,360

### 3. 特定財産の財源等の内訳

特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	8,063,360	0	0	(8,063,360)
合 計	8,063,360	0	0	(8,063,360)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,685,251	2,562,048	1,123,203
合 計	3,685,251	2,562,048	1,123,203

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載済みのため記載を省略する。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,347,519	2,116,000	2,347,519	0	2,116,000
退職給付引当金	6,607,856	1,455,504	0	0	8,063,360

# 財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	171,342
普通預金	静岡銀行本店 スルガ銀行静岡支店 清水銀行静岡支店	運転資金として 運転資金として 運転資金として	29,041,525 9,635,100 2,049,966
定期預金	スルガ銀行静岡支店	運転資金として	3,000,000
未収金	補助金	国補助事業、県補助事業等に係る未収分	93,087,426
前払費用		システム更新に係る未経過分ほか	497,200
流動資産合計			137,482,559
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	静岡銀行本店	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	8,063,360
	特定資産		8,063,360
その他 固定資産			
什器備品	会議室パーテーション等	管理運営用財産であり、管理運営に使用している	1,123,203
差入保証金	全国旅行業協会	全国旅行業協会弁済業務保証金	600,000
	その他の固定資産合計		1,723,203
固定資産合計			9,786,563
資 産 合 計			147,269,122
(流動負債)			
未払金		職員時間外手当、海外委託費等に係る未払分	40,940,454
未払消費税		消費税の未払い分	5,000
前受金		広告収入令和8年4月～12月分	41,250
預り金		社会保険料本人負担分	38,389
賞与引当金		賞与の支給見込額のうち当期に係る支給分	2,116,000
流動負債合計			43,141,093
(固定負債)			
退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	8,063,360
固定負債合計			8,063,360
負 債 合 計			51,204,453
正 味 財 産			96,064,669

<参考資料>

令和7年度 事業別収支一覧

(単位:円)

【収入】

		当初予算額(a)	決算額(b)	増減(b)-(a)	備考
自主財源	会費	49,955,000	49,796,000	△ 159,000	
	広告収入	100,000	70,100	△ 29,900	
	雑収益	0	315,919	315,919	
	小計	50,055,000	50,182,019	127,019	
県負担金	富士山カレンダー作成事業	800,000	800,000	0	
	全国広域観光振興事業	2,300,000	2,300,000	0	
	観光情報デジタルマーケティング事業	20,000,000	19,876,313	△ 123,687	
	ハローナビずおか保守運営費負担金事業	0	10,462,000	10,462,000	
	静岡県認知度調査事業	0	9,848,092	9,848,092	
小計	23,100,000	43,286,405	20,186,405		
国金補	訪日外国人旅行者周遊促進事業	0	1,501,500	1,501,500	
	小計	0	1,501,500	1,501,500	
県補助金	おもてなし推進事業	7,000,000	7,000,000	0	
	商品企画・販売支援事業	19,600,000	20,689,000	1,089,000	
	観光情報発信推進事業	2,600,000	2,600,000	0	
	インターネット観光情報発信事業	750,000	750,000	0	
	海外誘客強化事業	80,400,000	80,400,000	0	
	商品企画定着促進事業	73,500,000	72,154,820	△ 1,345,180	
	グループ旅行商品造成支援事業	12,000,000	12,000,000	0	
	教育旅行推進事業	4,500,000	4,500,000	0	
	スペシャルガイド育成支援事業	5,000,000	5,000,000	0	
	小計	205,350,000	205,093,820	△ 256,180	
総合計	278,505,000	300,063,744	21,558,744		

【支出】

		当初予算額(a)	決算額(b)	増減(b)-(a)	備考
自主事業	地域行事育成事業	288,000	200,109	△ 87,891	
	交通事業者協議会協力事業	800,000	824,917	24,917	
	観光功労表彰事業	350,000	263,488	△ 86,512	
	インターネット観光情報発信事業	9,230,000	29,461,128	20,231,128	
	共通事業	18,735,000	14,898,001	△ 3,836,999	
	小計	29,403,000	45,647,643	16,244,643	
負担金事業	富士山カレンダー作成事業	800,000	813,557	13,557	
	全国広域観光振興事業	2,300,000	2,416,620	116,620	
	観光情報デジタルマーケティング事業	20,000,000	19,876,313	△ 123,687	
	静岡県認知度調査事業	0	9,848,092	9,848,092	
小計	23,100,000	32,954,582	9,854,582		
国補助事業	訪日外国人旅行者周遊促進事業	0	3,041,416	3,041,416	
	小計	0	3,041,416	3,041,416	
公益会計	おもてなし推進事業	7,516,000	7,014,381	△ 501,619	
	商品企画・販売支援事業	19,600,000	20,699,971	1,099,971	
	観光情報発信推進事業	2,700,000	2,610,981	△ 89,019	
	海外誘客強化事業	84,380,000	81,993,643	△ 2,386,357	
	商品企画定着促進事業	75,965,000	73,897,107	△ 2,067,893	
	グループ旅行商品造成支援事業	12,000,000	12,026,947	26,947	
	教育旅行推進事業	4,500,000	4,500,000	0	
	スペシャルガイド育成支援事業	5,000,000	5,000,000	0	
	小計	211,661,000	207,743,030	△ 3,917,970	
	その他	賞与引当金繰入	1,385,000	1,834,000	449,000
退職給付費用	1,382,000	1,368,788	△ 13,212		
減価償却費	158,000	0	△ 158,000		
小計	2,925,000	3,202,788	277,788		
合計	267,089,000	292,589,459	25,500,459		
法人会計	会議費	1,700,000	1,590,515	△ 109,485	
	総務費	3,200,000	2,785,538	△ 414,462	
	職員費	4,250,000	3,921,704	△ 328,296	
	諸支出金	1,950,000	1,854,000	△ 96,000	
	職員研修費	0	30,940	30,940	
	賞与引当金繰入	148,000	282,000	134,000	
	退職給付費用	65,000	86,716	21,716	
	減価償却費	95,000	214,330	119,330	
小計	308,000	583,046	275,046		
合計	11,408,000	10,765,743	△ 642,257		
総合計	278,497,000	303,355,202	24,858,202		
収入-支出	8,000	△ 3,291,458	3,299,458		

# 監査報告書

公益社団法人静岡県観光協会  
会長 鈴木 康友 様

令和8年5月12日

公益社団法人静岡県観光協会

監事 都築直哉



公益社団法人静岡県観光協会

監事 袖山裕行



私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査意見

### (1) 事業報告等の監査意見

一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

## 第2号議案

### 令和8年度会費納入方法の承認

第1条 本会の会費は、1口につき年額金1,000円とし、  
最低10口10,000円とする。

第2条 会費は、7月末日までに納入する。

ただし、50口以上の会費については、会員の都合により  
分割納入することができる。

## 第3号議案

### 理事及び監事の一部選任

任期途中における理事及び監事の一部を選任するものとする。

### 第3号議案

#### 公益社団法人静岡県観光協会 理事・監事の一部選任 候補者（案）

##### 【理事・監事】

	役職名	氏名（敬称略）	公職
1	理事 （会長）	鈴木 康友	静岡県知事
2	理事 （副会長）	豊岡 武士	三島市長
3	理事 （副会長）	川井 敏行	一般社団法人静岡県バス協会 会長
4	理事	加藤 賢二	静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合 理事長
5	理事	土方 健司	一般社団法人美しい伊豆創造センター 副会長
6	理事	久保田 隆	公益財団法人するが企画観光局 理事長
7	理事	森下 忠康	公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー理事 館山寺温泉観光協会 会長
8	理事	稲葉 明久	一般社団法人伊東観光協会 会長
9	理事	望月 敬太	一般社団法人伊豆の国市観光協会 会長
10	理事	庄司 政史	株式会社時之栖 社長
11	理事	村田 繁樹	袋井市観光協会 会長
12	理事	山下 純乃	株式会社呉竹荘ホールディングス 取締役副会長
13	理事	神戸 重敏	公益社団法人静岡県観光協会 専務理事
14	理事候補者	大小原 敦史	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社 地域共創部 部長
15	理事候補者	岡本 邦弘	東海旅客鉄道株式会社静岡支社運輸営業部 営業担当部長
1	監事候補者	平塚 晴利	静岡県スポーツ・文化観光部 部長
2	監 事	袖山 裕行	公認会計士

